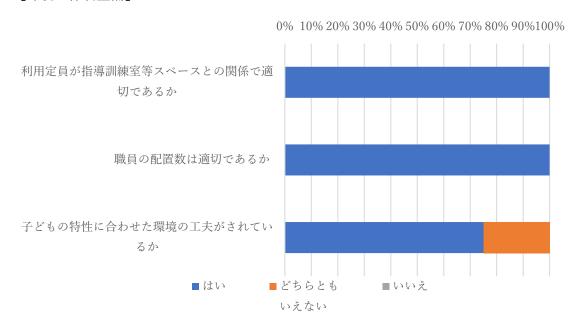
令和2年度石川療育センター放課後等デイサービス事業所評価 自己評価の結果

重症心身障児の方へのサービス内容に関して

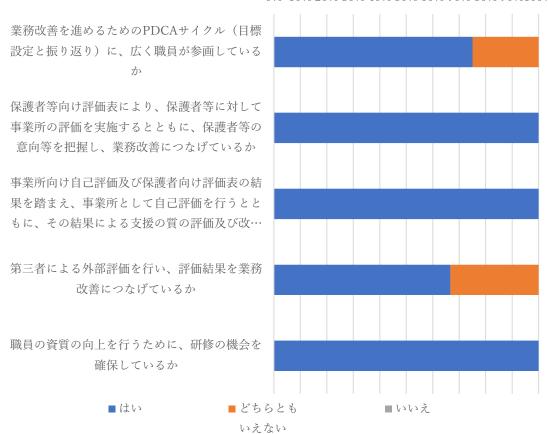
【環境・体制整備】



基本的には受け入れ人数に対してのスペース等は適切であると思われますが、人数を多く受け入れる場合には近くの別室やベッドを利用する等しています。多機能型なので利用者の受け入れの年齢は様々ですが、装飾などは利用者の作品を飾るなど、一人一人の特性に合わせた環境の工夫を大事にしたいと考えています。

【業務改善】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%



不都合等については、皆で話し合い共有できています。また院内外の研修にはサービス に支障が出ないように配慮しつつ参加しています。

医療的ケア児を受け入れているため、更なるスキルアップを目指して、基礎的な医療を 含む研修等に参加しており、これにつては今後も取り組んで行きたいと考えています。

【適切な支援の提供】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援 計画を作成しているか

子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

活動プログラムの立案をチームで行っているか

活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細や かに設定して支援しているか

子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか

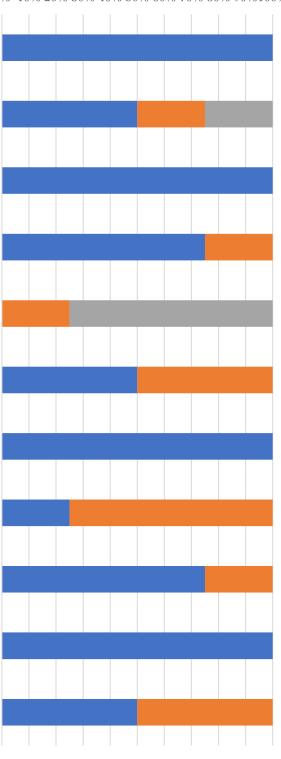
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか

支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか

日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか

定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見 直しの必要性を判断しているか

ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか



生活介護では細かくアセスメントを実施し、ニーズ整理をし、個別支援計画の作成をおこなっており、放課後等デイサービス等でも同様に実施したいと思います。必要な情報につきましては、個人が意識して全員が共有できる様、工夫しています。また児童期の場合は年齢に応じた必要な支援があると考えられ、場合によっては学校との情報交換や当機関の外来の専門家等との連携が必要と考えています。

活動プログラムは、個別のニーズに対しての支援が出来るように心がけてはいますが、 さらに個別なニーズをより深く把握して、個々に即した支援が提供出来るように創意工夫 をしたいと思います。今後も、本人のニーズに合わせた新たなプログラムを取り入れてい きたいと考えています。平日、休日、長期休暇につきましては、家での生活を中心として 頂き、家族からの希望があれば課題の設定等を検討したいと考えております。

職員間では固定した時間を決めてはいませんが、支援に対して気になることは、必要に 応じて、その時か、終了後に話し合いを行い、解決するように心がけています。

【関係機関や保護者との連携】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその 子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画し ているか

母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機 関と連携した支援を行っているか

学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行ってい…

医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子 どもの主治医等と連絡体制を整えているか

就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか

学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

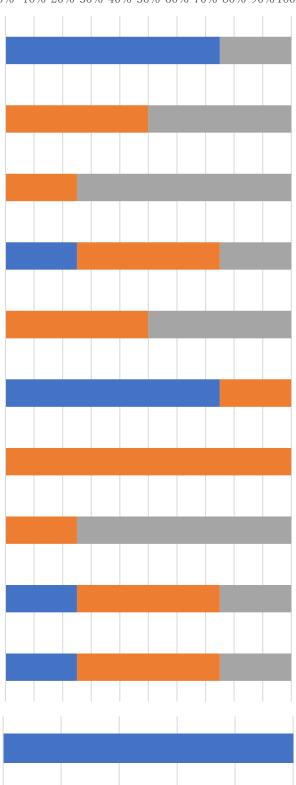
他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

子どもへの活動や支援は、地域や地域の子どもとの 交流につながっていく見通しを持って行っているか

(地域自立支援)協議会・児童部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか

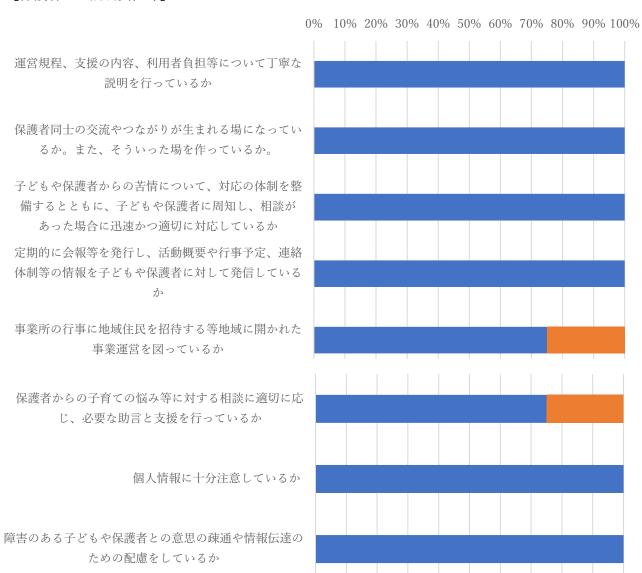
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っている



保護者さまとは連絡ノートや送迎時を利用し、日常的に連絡や報告等を毎日行い、変化や要望等はスタッフとその都度共有しています。学齢児の方の利用があれば、学校等必要な機関との情報の共有は行って行きたいと思います。また医療的ケアが必要な方の場合、その主治医との連絡に関しては保護者さまを通して情報を共有しています。必要時には当機関の医師と主治医とが連絡を取って情報交換を行っています。サービス担当者会議につきましては、幅広く参加をするため、時間や場所に考慮して頂きながら、出来る限り参加をしています。

【保護者への説明責任等】



日々の様子については毎日連絡ノートに記載し、送迎時に話をして保護者さまにお伝え しています。また年 2 回お便りを発行して、活動の様子等を伝えています。これについて は今後も取り組んで行きたいと考えています。

■どちらとも

いえない

■いいえ

■はい

保護者さま同士の交流の場となる機会を増やしていきたいと考えており、今年度は、親 睦会の開催と、活動公開日を設け実施しました。

【非常時の対応】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知すると ともに、発生を想定した訓練を実施しているか

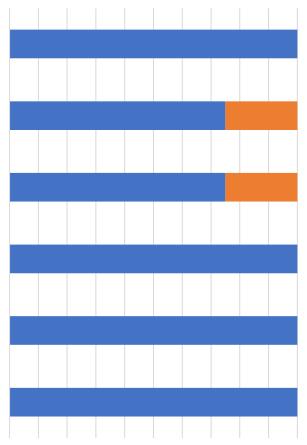
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか

食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか

ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか

虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか

どの様な場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載し…



■はい ■どちらとも… ■いいえ

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、各場所(部屋、送迎バス等)に備えてあります。また避難訓練にも参加していますが、保護者さまへの案内、情報提供は充分とはいえないので、非常時の対応方法を保護者さまと共有できるよう、次年度は災害時における避難の手順を作成し、お知らせやお便り等を利用して保護者に伝えていき、共有していくようにしたいと考えています。

ヒヤリハットに関しては、事業所での実施は出来ておりますが、職員の意識に欠ける部分もあり、ヒヤリ、ハットした時にすぐに記載できる方法を考えていきたいと思います。